

# KUREスマートシティモデル事業実行計画 (呉市)

平成30年7月豪雨災害を教訓に、スマートシティの取組による復興と地方都市が抱える課題の解決を目指す。

呉駅周辺地域総合開発のポテンシャルを活かし、スマートモビリティの先駆的実装を進め、次世代モビリティネットワークの形成及びオールくれによるスマートシティの拡大を目指す。

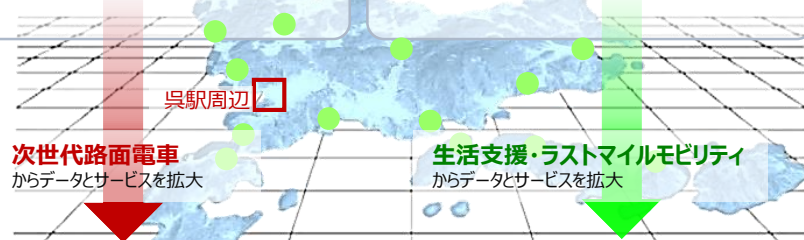
## 目標

- ・市民の高次都市機能への充足感 充足感の向上(R7年度末)
- ・市民の交通体系への満足度 満足度の向上(R7年度末)
- ・都市データプラットフォームを活用した新たなサービスの実装数 5件以上(R7年度末)
- ・ニーズ・シーズのマッチング数 30件以上(R7年度末)
- ・コンソーシアムへの参加団体数 10者以上(R7年度末)

## 取組概要

### 取組1 次世代路面電車の実装を通じた持続可能な交通体系の再構築

呉駅周辺地域を起点に次世代路面電車(次世代BRT)やMaasなどの新技術を活用した持続可能な交通体系の再構築



### 取組2 斜面市街地における高齢者の生活支援

斜面市街地、島しょ部等の地形条件で快適に住み続けるため、生活支援施設と連携し、公共交通を補完するファースト/ラストワンマイルの交通体系の再構築

### 都市データプラットフォームと官民連携プラットフォームによりスマートシティを持続的に拡大

#### 取組3 都市データプラットフォームの構築

快適な暮らしや持続可能なビジネスモデルの確立に向けて、交通関係データを起点に、産学官民の連携により、成長・拡張し続ける都市データプラットフォームを構築

#### 官民連携プラットフォームの構築

質の高い生活と新産業の創造に向けて、スタートアップ企業を含む幅広いプレイヤーのビジネスチャンスを生み育てる「民が主役」の官民連携プラットフォームを構築

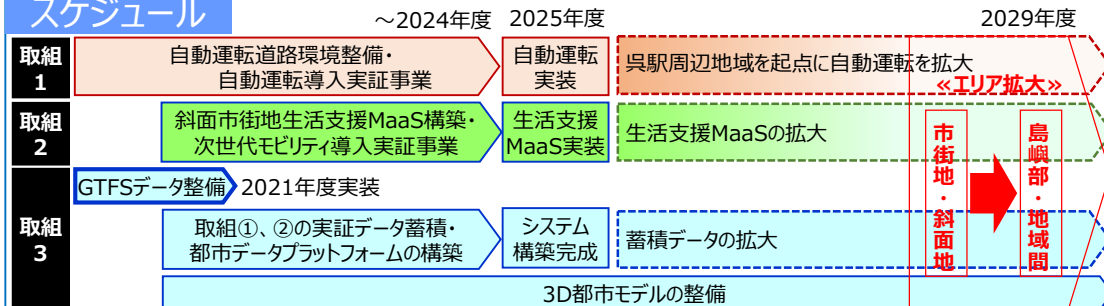
## 将来像



## 体制



## スケジュール



呉駅周辺地域総合開発(第1期開発)の完了見込年度(2024年度末)、あるいは2025年度末を目標に、実証事業により改善を行い各取組を実装し、引き続き拡大・展開を目指す。

### <継続実施>

- 交通社会実験(市街地・斜面地から島嶼部・都市間へと順次拡大)
- 3D都市モデルの整備
- 都市データプラットフォームの構築
- スマートシティくれ 官民連携プラットフォームの構築
- コンソーシアムからアーバンデザインセンターへの移行・構成員の拡充
- 各種サービスの実証実験の展開